

平成26年

3月

第114号

三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

開催しました

三鷹市市民協働センター設立10周年記念事業シンポジウム

～つなぐ ささえる つむぎだす～

「暮らしやすいまちにするために
“市民”（わたしたち）ができること」

開催日

2014年2月11日

参加人数

122人

市民参加と協働を推進するための拠点として平成15年12月に開館して以来、三鷹市市民協働センターは皆様に支えられて10年を迎えることができました。これを記念し、2月11日に設立10周年記念事業シンポジウム及び式典が、平成21年4月から同センターの指定管理者となっている特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワークの主催で開催されました。

45年ぶりの大雪で、町のあちらこちらにはまだ大量の雪が足元に残る中、122人もの方々にお越しいただきました。～つなぐ ささえる つむぎだす～「暮らしやすいまちにするために“市民”（わたしたち）ができること」をテーマに、第1部では、コーディネーターに法政大学教授 名和田是彦さんをお迎えし、パネルディスカッションが行われました。第2部の式典の後には交流会も開かれ、にぎやかで次の10年へとつながる有意義な会となりました。

三鷹市市民協働センターは、今回のシンポジウムで皆様からいただいたお声を大切にしながら、つなぐ、ささえる、つむぎだすを3本柱に「民学産公の協働」の未来に向けて新たなスタートをきりますが、これからも皆様に寄り添い、皆様とともに、より暮らしやすいまちづくりの一翼を担ってまいりたいと考えております。

《シンポジウム》



コーディネーター(右)
法政大学教授 名和田是彦さん
アシスタント(左)
NPO法人みたか市民協働
ネットワーク副代表理事 宇山正幸



パネリスト、左から
NPO法人グレースケア機構代表
柳本文貴さん
介護予防教室「チームさくら」代表
物江純子さん
デュプレックスファミリー代表
佐藤孝典さん



清原慶子三鷹市長
あいさつ

《式典》



NPO法人みたか市民
協働ネットワーク
代表理事 正満たつ子
あいさつ



NPO法人みたか市民協働ネット
ワーク副代表理事宮川 齊による
「10年のあゆみとこれからの市民
協働センター」プレゼンテーション



《学生の参加》



杏林大学学生によるマジックショー(上)
亜細亜大学学生によるフルート演奏(左)

《交流会》



◆ ◆ ◆ 開催しました ◆ ◆ ◆

NPO・市民活動のための コミュニティリーダーズカフェ

開催日:2014年2月1日(土) 参加人数:34人

講師:呉 哲煥 (NPO法人CRファクトリー代表)

多様な人々が集まって行う市民活動のさまざまな課題を、自らの組織運営の振り返りや活動のヒントを学ぶことにより、組織をよりよく変えることを目的に開催されました。

「これからの社会・地域・コミュニティ」というタイトルの講義の後、「新しい仲間をどう増やすか」、「担い手をどう増やすか」、「楽しく活動するためには」の3つのテーマが示され、6つのグループで、それぞれ話し合いたいテーマを決め、「難しいと思っていること(課題)」を出し合った後、「工夫していること(ノウハウ)」について話し合いました。

参加したどの団体にも共通するテーマで、参加者はお互いの話に共感しながらディスカッションを行うことができました。また講師から団体運営のためのアドバイスやヒントを聞くことができ、参加者からも「活動の参考になればと参加したが、色々な人と話ができ、気があった」等と好評でした。

今回の講座は、地縁型活動を行っている住民協議会や町会と、テーマ型活動を行っている市民活動団体やNPOの人たちが、同じテーブルに会する貴重な機会となりました。



平成25年度 三鷹市町会等地域自治組織活性化事業

がんばる地域応援プロジェクト 発表会

開催日:2014年2月8日(土) 参加人数:54人

町会や自治会等の地域自治組織が、地域の課題解決や、活力を生み出す活動に取り組む事業などに対して市が助成する「がんばる地域応援プロジェクト」の助成を受けた13団体が、地域の課題解決や活力を生み出す事業について、その取り組みを発表しました。

選考委員の名和田是彦法政大学教授、木村忠正東京大学大学院教授にもご出席いただき、河村孝三鷹副市長の主催者あいさつの後、各団体が写真や資料を使って取り組みの成果や課題などを発表しました。

45年ぶりの大雪の序盤、悪天候にもかかわらずご参加いただいた方々のアンケートでは、「大変良かった」「良かった」と高評価をいただき、「団体それぞれ特徴や工夫があり、とても勉強になった。」との声が聞かれました。

また、発表の後には、NPO法人就労情報サポートセンターきずなコミュニケーションズから活動PRがありました。



各団体の発表



《発表団体》

新川五丁目2号棟自治会、井の頭一丁目町会、向原あゆみ会、井之頭町会、ラトリエ吉祥寺管理組合、親生会、上二町会、下連雀若葉会、東野会、牟礼西組町会、野崎鷹野会、井の頭玉川町会、都営上連雀一丁目アパート親和会

※各団体の詳しい内容については、次号でお知らせします。



NPO法人就労情報サポートセンター
きずなコミュニケーションズの活動PR

三鷹市市民協働センター登録団体の皆さまへ

～平成26年度の団体登録更新について～

平成25年度の団体登録の有効期限およびロッカー、情報交換箱の使用期限は平成26年3月31日です。

来年度の更新手続きは、「平成26年度三鷹市市民協働センター利用団体登録申請書」を各団体あてに送付しましたので(平成26年2月28日発送)、詳細につきましては、同封の文書にてご確認ください。更新手続き締切は3月14日(金)までとさせていただきます。

なお、来年度更新されない団体は、3月末までにロッカー、情報交換箱の荷物の整理をお願いします。





学生企画トークサロン

学生と地域（市民、NPO・市民活動団体等）の連携・協働をテーマとして、学生企画トークサロン第2弾、第3弾が開催されました。

第2弾「農業×学生×地域」 開催日:2014年1月26日(日) 参加人数:52人

第2弾のトークサロンでは、JA東京むさし三鷹地区青壮年部元顧問・吉野浩之さん、青壮年部部長・伊藤嘉美さんから、「いつまでも残したい三鷹の農業」をテーマに、三鷹の都市農業の現状を伺った後、国際基督教大学のサステイナブル委員会と畑同好会に今取り組んでいることを発表していただきました。

その後ワールドカフェ形式で、「都市農業に学生や市民が関わると何ができるのか?!」をテーマに、参加者全員で三鷹の都市農業の未来をグループで語り合い、最後に発表を行いました。



〈市民〉♪学生が触媒になったおかげで、素晴らしい場ができたと思います。今後が本当に楽しみです。

〈学生〉♪農家の方から具体的なお話をうかがえ興味深かった。またこのような機会をつくってみたいです。

第3弾「教室から三鷹へ」 開催日:2014年2月23日(日) 参加人数:55人

第3弾は、「学生と地域でゆるやかな繋がりを」を全体テーマに、ICUサービス・ラーニング・センター授業受講学生によるプレゼンテーションが行われました。「〈食〉でつながる地域と学生」では、3つの提案、「災害にそなえて地域とつながる。」で2つの提案発表後、グループディスカッションを行い、グループ発表しました。

〈市民〉♪学生が地域とつながりを持ちたいと思っていることが知れてよかった。学生の思考の柔軟性に敬服。

〈学生〉♪もっと地域の人たちとつながるチャンスがあると思った。具体例が出て良かった。



日米の子どもたちによる 国際交流絵画展

2014年 4月 16日 (水) ~ 5月 6日 (火)

無料

日本から米国ワシントンD.C.へ桜を寄贈してから、一昨年100周年を迎え、それを記念してワシントン桜祭り会場と三鷹会場で「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」を開催しました。一昨年、昨年に引き続き、今年も三鷹市市民協働センターとMISHOP（公益財団法人三鷹国際交流協会）の2会場で、日本の小学生の描いた絵を、アメリカの子どもたちの絵や写真とともに展示します。

- ◆会場：①三鷹市市民協働センター（三鷹市下連雀4-17-23）電話:0422-46-0048
9時~21時（火曜日休館。但し、祝日は開館し、直後の平日を休館）
- ②MISHOP（三鷹市下連雀3-30-12）電話:0422-43-7812
9時30分~17時（日曜日・祝日休館）



- ◆主催：友情の桜とカルミアの会 ◆共催：NPO法人みたか市民協働ネットワーク、公益財団法人三鷹国際交流協会

利用者懇談会

2014年 3月 20日 (木) 午後7:00 ~ 9:00

市民協働センターを、利用者のみなさまがより快適にご利用いただけるように、意見交換を行う利用者懇談会を開催します。

みなさまのご参加をお待ちしております。

- ◆場所：三鷹市市民協働センター第1会議室
- ◆主催：NPO法人みたか市民協働ネットワーク
- ◆申込み・問い合わせ先：三鷹市市民協働センター

※事前に協働センターまでお申込みをお願いいたします。

ご参加をお待ち
しております。



おやこでよって

チョコっとあっぴる♪む

| 月日 | テーマ・内容 | 参加費 | 担当 | 定員 |
|--------------------|---|-------------------------------|--------------------------|-----|
| ① 3月1日(土) 時間注意! | 「ベビーサイン」で楽しい子育て♪ ～赤ちゃんとお手でコミュニケーション～ | 1,500円 (ご夫婦参加同額) | Mama & Baby | 8組 |
| ② 3月3日(月) | ヨガママで骨盤調整(ハイハイ前) ～ママの為にヨガで骨盤整えリラックス～ | 1,500円 | 花莉屋 | 8組 |
| ③ 3月6日(木) | ママ護身術エクササイズ (パンチ編) ～だっこしたまま、強いママ～ | 1,500円 (防犯ホイッスル付き) | オフィス Erico-I | 6組 |
| ④ 3月8日(土) | みんな一緒に「ベビーマッサージ」 ～赤ちゃんとのふれあいを楽しみましょう♪～ | 1,800円(オイル・シート 付き、ご夫婦参加同額) | Mama & Baby | 6組 |
| ⑤ 3月10日(月) | 産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～ | 2,000円 (さし付き) | はっぴいまむず (助産師・整体師 谷京子) | 8組 |
| ⑥ 3月13日(木) | ママと英語であそぼ(1歳～2歳) ～洋書絵本で親子のふれあい♪～ | 2,000円 (絵本代込) | NPO法人子育てコンビニ | 10組 |
| ⑦ 3月17日(月) | 一緒におもちゃを作りましょう☆ ～身近な材料をつかって創造力を育もう～ | 1,000円 (作るお子様一人) | ベネシス教育研究所 | 6組 |
| ⑧ 3月20日(木) | 羊毛フェルトでピオラを作りましょう ～ママの手仕事～ | 1,300円 (材料費込) | NPO法人子育てコンビニ | 8組 |
| ⑨ 3月24日(月) | マタニティヨガ ゆったり骨盤調整で安産力 ～骨盤整え、快適マタニティ生活～ | 1,500円 | 花莉屋 | 8組 |

※時間:①午後1時30分～3時、②～⑨午前10:30～正午

(先着順)

【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子
及び妊娠中のお母さん
(講座ごとに異なりますので、ご確認ください。)
【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター
※お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ・
お申込みは当センターへ

☆全回、保育はありません。
☆お車でのご来場はご遠慮ください。
☆キャンセルされる場合は、
必ずご連絡ください。
☆お菓子とお茶をご用意しています。
☆ご夫婦参加の場合は申し込み時に
必ずお申し出ください。



助成金等の情報

三鷹市市民協働センターに持ち込まれた情報およびセンターで収集した情報を、市民活動に関わるものを中心に紹介しています。詳細につきましては、各ホームページ上などで直接ご確認ください。

- ◆第26回 地域福祉を支援する「わかば基金」
(お問合せ先: NHK厚生文化事業団「わかば基金」係)
<http://www.npwo.or.jp/wakaba/> TEL:03-3476-5955 (締切日: 2014年3月31日)
- ◆2014年度(第12回)ドコモ市民活動団体への助成
(お問合せ先: NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)事務局)
<http://www.mcfund.or.jp/> TEL:03-3509-7651 (締切日: 2014年4月21日)

■町会・自治会へ ニュースレターを配付させていただきます。

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただきます。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

◆ニュースレター配布場所◆

るま・ぱぐーす、一圓(ラーメン店)、グラナダ(レストラン)、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこうば、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日: 平成26年3月1日

発行: 三鷹市市民協働センター

(指定管理者: 特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

メール: kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ: <http://www.collabo-mitaka.jp>

開館時間: 9:00am-9:30pm 受付時間: 9:00am-9:00pm

休館日: 火曜日(祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。)

Editor's note.

編集後記: 2月はオリンピックと大雪のニュースで、世間は大賑わいでした。若手とベテランの活躍、メダルにも勝る真央ちゃんの不屈の演技、やはりオリンピックから大きな感動がもたらされます。また、45年ぶりに東京にもたらした大雪はセンターのイベントにも大打撃でした。しかし、記事でもご紹介したように、みなさまのご協力もあり、おかげさまで大盛況のうちに無事終了いたしました。コミュニティーリーダーズカフェに始まり、がんばる地域応援プロジェクト、シンポジウム、トークサロンと、毎週イベント開催という怒涛のひと月もようやく終わりましたが、一息つく間もなく、このまま来年度に向け突っ走る勢いのセンターです。